

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）
戸田市長

平成 28 年 4 月 20 日

団体名 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 代表者氏名 代表理事 藤田 徹
 代表者住所 [REDACTED]

代表者連絡先 [REDACTED]

コース	2 (に) っこりコース	10 (じゅう) じつコース
事業名	地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」	
補助年数	1年目	2年目
実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日	
事業総額	4,609,020 円	
補助対象経費	1,870,020 円	
補助金申請額	800,000 円	
確定前交付の希望	希望する	希望しない
実施場所	戸田市内	
対象者	戸田市民	
申請中又は交付予定の補助制度	名称	
	実施主体	

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ						
代表者	氏名	代表理事 藤田徹					
	住所	[REDACTED]					
	電話	[REDACTED]					
	e-mail	[REDACTED]					
連絡担当者	氏名	担当責任者 芹沢由和					
	住所	[REDACTED]					
	電話	[REDACTED]					
	e-mail	[REDACTED]					
ホームページ	http://pocket.roukyou.gr.jp						
設立年月日	平成13年9月13日 設立						
会員数	利用会員102人・ボランティア会員52人						
年会費	1000円/1年間(利用会員のみ)						
団体の目的	<p>生活と地域が必要とする仕事をおこし、働くことの社会的価値を高め、誰もが尊厳をもって生きられる社会をつくります。</p> <p>①地域の人々と協同し、生活と地域における必要と困難、課題を見出し、その解決をめざします。</p> <p>②仕事をおこし、地域をよりよくしようとする、あらゆる人びととその取り組みから学び、よい仕事へと結びます。</p> <p>③よい仕事を地域に広げ、働く人びとの生活の豊かさと幸福の実現をめざします。</p>						
主な活動実績	<p>平成24年度埼玉県地域支え合いの仕組み推進事業 (平成27年3月31日補助事業の終了)</p> <p>戸田市多世代交流広場「わいわいスポット」(平成26年12月1日～)</p>						
平成27年度実績							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用件数	79	80	89	91	87	73	
利用時間数	122	119	132	146	137	119	
利用会員登録数	103	104	106	104	108	108	
ボランティア会員登録数	53	53	53	53	53	53	
利用券発行枚数	180	115	116	166	97	181	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績
利用件数	73	64	69	66	66	47	計884
利用時間数	132	98	99	103	107	70	計1384
利用会員登録数	111	112	114	116	116	116	
ボランティア会員登録数	53	53	53	53	53	53	
利用券発行枚数	90	117	117	91	94	47	計1411

依頼内容が地域包括支援センター等からの多様化・介護への専門化傾向が顕著となり、ボランティアによる助け合い活動という本来の範疇にもどすべく、利用の見直しを行った。時間を単位とする助け合いだったものをサービスを単位とする助け合いに変更していった。

利用については、年間累計利用件数：平成 26 年度 1548 件 ⇒ 平成 27 年度 884 件、年間累計利用時間：平成 26 年度 2251 時間 ⇒ 平成 27 年度 1384 時間に減少した。

利用会員については 14 名増加し、ボランティア会員については、平成 26 年度と同様に、平成 27 年度も 1 年を通して横ばい（登録 53 名を維持）となった。

利用券発行枚数については、平成 26 年度累計 2242 枚のところ平成 27 年度累計は 1411 枚となった。

「とだ・お～る助っ人隊」の取り組みから見えてきた地域課題や問題意識をもとに、戸田市商工会・戸田中央商店会と「くらしの安心きずなノート」（社会資源マップとエンディングノートの機能を合わせた冊子）を作成し、周辺地域・関係機関に配布した。困りごとやをもしもの時の対応・連絡先等を、市民自らが書き込み、伝えることができる「知り・知らせ・結びつきツール」となった。J:COM 川口・戸田から取材を受け、「とだお～る助っ人隊」の取り組みが放映された。（2/16「デイリーニュース川口・戸田」別添 DVD 参照）（以上平成 26 年度）

平成 27 年度は、戸田中央商店会が中心となった下戸田地区 5 商店会共催の「つむぎ市」に準備段階から関わり、多くの戸田市民の集う場で「とだ・お～る助っ人隊」の普及・宣伝をおこなった。

昨年度の補助金等の援助状況	戸田市市民活動サポート補助金（1 年目）
団体 PR など	生活と地域が必要とする仕事をおこす「協同労働の協同組合」 戸田市商工会に所属 別紙：営業案内参照

※別紙での提出可

《事業計画書》

1 事業名

地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」

2 事業の目的

元気な高齢者等のボランティアが援助の必要な高齢者等を支えるとともに、ボランティア自身の介護予防・地域の商業振興・住民自治の向上等につながる「地域支え合いの仕組み」づくりを支援することを目的とする。

3 具体的内容

①ボランティアによる支え合い活動

ボランティアが、利用者に対して、以下に例示するサービスの全部または一部を提供するよう、ワーカーズコープぽけっとが調整する。利用者には利用料としてサービスを単位とする利用チケットを購入してもらう。

買い物代行

外出の支援（買い物同伴、通院付き添い、散歩の同行など）

部屋の掃除（家具の移動、窓ふき、電球交換など）

障子等の張り替え（網戸の張り替えなど）

屋外における作業（庭の手入れ、ゴミだし、犬の散歩など）

話し相手

その他必要とする日常生活の援助（児童の送迎等）

②ボランティアへの謝礼

ボランティアに対し、利用者から得た利用料等の全部又は一部を謝礼として還元するとともに、活動実績と謝礼の支払い方法等について明示する。

③地域の商業振興等

戸田市内において、以下に例示する取組を行うことで、戸田市の商業振興等につなげる。

ボランティアへの謝礼を地域通貨「戸田オール」券等とする。

戸田市花フェスタ等の商業振興等につながる取組を行う。

④会費の徴収

支え合い活動の実施にあたり、利用者及びボランティアの双方から、利用者の生活水準等によって利用が制約されない金額で、会費を徴収する。

⑤広報

ホームページ等をとおして、地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」の取組みを普及する。

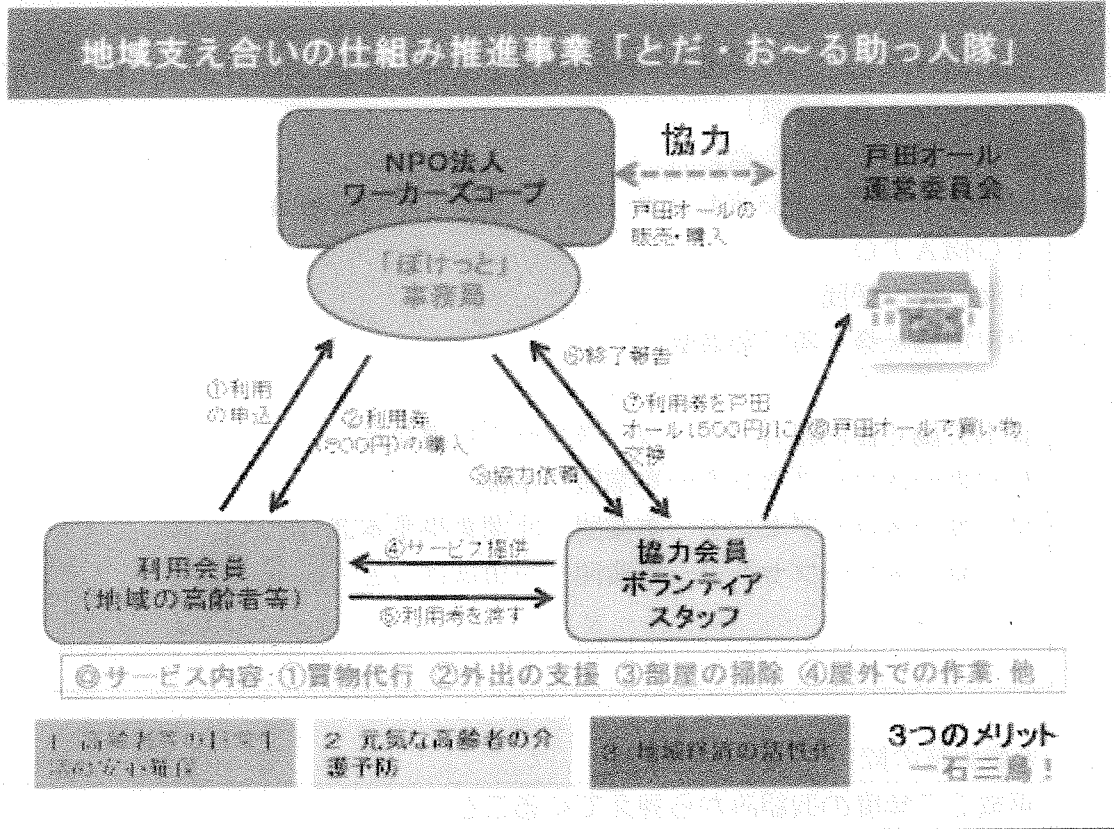
⑥ボランティアの育成

講習会等を開催し、ボランティアの育成及び資質の向上に努める。戸田市との協力により「出前講座」等を開催する。地域包括ケアシステムを学び、住民自治の

担い手としての意識を高めていく。

⑦関係機関との調整

戸田市長寿介護課を始めとする関係機関との連絡調整をとおして、利用者及び地域の課題解決に努める。町内会・自治会との関係作りを進め、地域の支え合いについての意見交換を行う。



4 事業実施のスケジュール

月日	内容
4月	戸田市花フェスタに出展参加 (4月10日)
5月	事務局研修会
6月	コーディネーター研修会
7月	戸田中央商店会フェスタに出展参加
8月	ボランティア会員懇談会
9月	地域包括ケアの学習会 (事務局・コーディネーター・ボランティア)
10月	戸田市地域福祉祭りに出展参加
11月	戸田中央商店会フェスタに出展参加
12月	コーディネーター研修会
1月	地域包括ケアの学習会 (事務局・コーディネーター・ボランティア・地域)
2月	事務局・コーディネーター・ボランティア懇談会

5 事業に携わる人数・団体など

担当責任者 1名

コーディネーター 1名

利用チケット・戸田オール券等管理事務 1名

地域通貨戸田オール運営委員会（協定を締結 平成 25 年 2 月 14 日～）

戸田市商工会（会員）

戸田中央商店会（会員）

戸田市上戸田地域交流センターあいパル祭り実行委員会

TOMATO

トマピー応援団

戸田市福祉祭り実行委員会

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

ワーカーズコープセンター事業団 本部

ワーカーズコープセンター事業団 北関東事業本部

ワーカーズコープセンター事業団 戸田ぽけっと

6 事業実施の際に予想される課題

平成 27 年度の取組みから見えてくること

①依頼内容の多様化・介護への専門化するなかで、活動内容をボランティアによる「ちょっとした困りごと」の助け合い活動に戻すことが必要となった。

②事務局とボランティア会員との協議の結果、ボランティア会員の負担感が「1 時間 500 オール」という時間を単位にする仕組みに起因することがわかり、「1 回 500 オール」という仕事を単位にする仕組みに変更した。（する・される関係から協働関係へ）

③介護保険制度が改定される中で、介護保険の安価な代替サービスに誤解される傾向が顕著になった。

平成 28 年度の課題

①戸田市長寿介護課を始めとする関係機関との連携を深め、地域包括ケアシステムを学び合い、本来の「とだ・お～る助っ人」の役割＝地域の協治・協働のリーダーとしての役割を再認識すること。

②町内会や自治会との協議の場をつくり、「とだ・お～る助っ人隊」を町内会や自治会に広めていくこと。

7 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

①コーディネーター業務の実施

コーディネーターの常駐体制の確立：1日8時間*週5日
（連絡調整2H・相談援助6H/日）

コーディネーター研修会の実施 6月・12月

②ボランティア会員による助け合いの実施

月100時間 年1,200時間

ボランティア会員懇談会の実施 8月・2月

③地域包括ケアシステムの学習会

9月・1月

④町内会・自治会との協議

適時

⑤広報の充実

ホームページのリニューアル等

8 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

戸田市全域の支え合いの仕組み推進事業としていくこと。

ボランティアによる「ちょっとした困りごと」の助け合い活動を、子育ての支援・安心安全な街づくりの活動にもひろげていくこと。

だれでもができる助け合い活動にしていくこと。

ボランティア会員の確保・養成

ボランティアの募集⇒ボランティア講習会・ボランティア会員懇談会の実施

ホームページ・イベント（福祉祭り・商工祭等）での案内

戸田市広報等に掲載を依頼

下戸田地区の支え合い活動の担い手づくりに向けて、地元の自治会・町内会等との協議の準備を進めること。

戸田市長寿介護課をはじめ関係機関との協議を通して、全市民支え合い活動にむけたロードマップの作成を進めること。

《収支予算書》

【収入】

(円)

科目	予算額 ①	内 訳
補助金・助成金	¥800,000	10じつコース2年目
	¥0	
自己資金	¥0	
会費	¥30,000	新規利用会員30人*¥1000円
利用者負担金	¥2,200,000	月250時間*11月*¥800円
協賛金・寄附	¥1,579,020	ワーカーズコープ社会連帯基金ほか
その他	¥0	
合計	¥4,609,020	

【支出】

(円)

	科目	予算額	補助申請額	自主財源	内 訳
補助対象経費	人件費 (コーディネーター)	¥1,443,200	¥603,853	¥839,347	160H*820円*11月
	消耗品費	¥16,500	¥7,059	¥9,441	コピー用紙・インク等 1500円*11月
	保険料	¥120,000	¥51,366	¥68,634	ボランティア保険・損害保険 一式
	謝礼金	¥60,000	¥25,688	¥34,312	コーディネーター研修・ボランティア講習等謝礼 1万円*6回
	交通費	¥12,000	¥5,134	¥6,866	2000円*6回
	人件費費(ホームページリニューアル)	¥218,320	¥106,900	¥111,420	ホームページリニューアル等
小 計		¥1,870,020	¥800,000	¥1,070,020	
補助対象外経費	賃借料	¥1,100,000	—	¥1,100,000	(事務所9万+車庫1万) 10万円*11月
	通信費	¥88,000	—	¥88,000	(NTT等) 8千円*11月
	光熱水費	¥176,000	—	¥176,000	(電気料等：電燈・動力ほか) 1万6千円*11月
	その他 (戸田オール券購入費)	¥1,375,000	—	¥1,375,000	(サービス提供250H*500円) *11月
小 計		¥2,739,000	—	¥2,739,000	
合計		¥4,609,020	¥800,000	¥3,809,020	